

点検記録表(コードリール)

●安全のために始業前点検を、1年に1回は定期点検をおすすめいたします。

●下欄の安全点検項目について点検し該当する場合は✓印を記入し、処置手順に従ってください。

分類	安全点検項目	処置手順	点検結果		
			点検年月-1	点検年月-2	点検年月-3
始業前点検	外観 (筐体)	1) 清掃しても汚れが落ちない	C		
		2) 各部に変形、ガタツキ、ネジゆるみなどが見られる	C		
		3) 塗装の塗膜剥離、腐食が著しい	C		
	外観 (電線)	4) 電線(キャブタイヤケーブル)の引出し、巻取りがスムーズに出来ない	C		
		5) 電線(キャブタイヤケーブル)に傷、ひび割れ、膨れ、凹みが見られる	B		
	外観 (コンセント・プラグ)	6) プラグに損傷、腐食、汚れ(付着物)が見られる	B		
		プラグ電源刃に曲がり、変形が見られる	B		
		7) ボッキンプラグの場合のみ アースピンを指で押してピンが正常に倒れること、また正常に戻ってくること	B		
		8) アースクリップが変形している	C		
		9) アースクリップカバーに裂け、割れが見られる	C		
		10) コンセントに損傷、腐食、汚れ(付着物)が見られる	B		
		11) コンセントにプラグを差し込んだ際、容易に抜けてしまう、刃受けの緩みが見られる	B		
	通電	12) ※防雨型の場合のみ コンセントキャップが破損している	B		
		13) 通電しない	A		
		14) 電源ランプが点灯しない	B		
		15) ※アースチェックランプ付きの場合のみ スイッチを押しても点灯しない	B		
		16) ※漏電遮断器付きの場合のみ テストボタンを押しても動作しない	B		
17) ※温度センサー付きの場合のみ 熱感知部分に凹みがある		B			
定期点検	18) 内部配線に抜けや断線などが見られる	A			
	19) 500V絶縁抵抗計により測定した値が5MΩ以下である(L極-アース間、N極-アース間のみ)	A			
	20) ※100V仕様の場合のみ 1000V 1分間の絶縁耐力試験を行ない、異常が見られる	A			
	21) ※200V仕様の場合のみ 1500V 1分間の絶縁耐力試験を行ない、異常が見られる	A			
	22) ※漏電遮断器付きの場合のみ 漏電遮断器テストにより測定した感度電流、動作時間に異常が見られる	B			
	23) ※温度センサー付きの場合のみ 熱感知部分が熱くなっても動作しない、又は通電復帰しない	B			

処理手順 / 具体的処置		該当する 個数	該当する 個数	該当する 個数
A	コードリールが、危険な状態になっています。事故防止のためすぐに使用を中止し、修理、検査を実施してください。			
B	部品の一部が、危険な状態になっています。部品を交換してください。複数個ある場合は、さらに危険な状態になっている可能性があります。修理、点検をおすすめします。			
C	本来の機能を発揮できないおそれがあります。修理又は部品の交換をおすすめします。			